

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会

## 目 次

1	社会福祉協議会の基盤整備	・・・	1
2	地域福祉活動の推進	・・・	4
3	権利擁護活動の推進	・・・	11
4	ボランティア活動の推進	・・・	14
5	生活福祉資金等を活用した自立支援	・・・	15
6	災害時に向けた取組み	・・・	16
7	生活困窮者自立相談支援事業の実施	・・・	16
8	福祉センターの円滑な管理及び運営	・・・	19
9	地域包括支援センターの運営及び包括的支援事業の推進	・・・	23
10	デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営	・・・	25
11	交通遺児奨学金の支給	・・・	29

# 事業報告

令和3年度は、長引くコロナ禍による、経済状況の悪化から生活困窮状態の継続、地域活動の停滞、社会的孤立など様々な地域課題の顕在化がさらに進みました。

一方で、状況を好転させる様々な試みが見られましたが、その時々での感染状況により対応を変化させる必要など、私たちが経験したことのない臨機な対応が求められました。

人との接触を減らす、距離を開けるなどの感染対策は、これまで人と人とのふれあいを大切に続けてこられた、地域のサロンやボランティアの活動はもちろん、当社会福祉協議会の事業運営にも大きな影響を及ぼし続けています。

社会福祉法人生駒市社会福祉協議会におきましては、行政や関係機関等との連携を今まで以上に強化し、感染症対策に充分留意しつつ、方法を見直しながら事業の運営や地域活動の支援に取り組みました。

当社会福祉協議会の事業運営に当たりましては、地域の皆様や団体の温かいご理解により、多大なご支援ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、ここに事業概要及び執行状況を報告いたします。

## 1 社会福祉協議会の基盤整備

### (1) 組織体制・財政基盤の強化

#### ア 理事会・評議員会の運営

当協議会を円滑に運営するため、次のとおり開催した。

会議名	開催日	場 所	主 な 内 容
決算監査	5月14日	コミュニティセンター	・ 令和2年度社会福祉法人生駒市社会福祉協議会事業報告及び計算書類の監査
理 事 会	5月27日	書面決議	・ 令和2年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・ 生駒市社会福祉協議会の次期評議員候補者の選任について ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任について ・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
評 議 員 会	6月14日	書面決議	・ 令和2年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・ 生駒市社会福祉協議会の理事及び監事の選任について

理事会	6月19日	書面決議	・ 生駒市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について
理事会	3月17日	書面決議	・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 経理規程の一部改正について ・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について ・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
評議員会	3月31日	書面決議	・ 生駒市社会福祉協議会の理事の補充選任について ・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和4年度年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について

## イ 共同募金事業への協力

### (ア) 共同募金委員会の運営

市民に分かりやすく透明性があり、参加しやすい募金運動を展開するため共同募金委員会を開催した。

開催回数 2回

### (イ) 共同募金運動の推進

10月から赤い羽根共同募金運動を行い、自治会、市内小・中学校、生駒商工会議所を始め、市民の皆様のご理解ご協力により多額の募金をいただいた。

また、10月1日に、民生・児童委員連合会の協力を得て、市内の各駅前等で街頭募金活動を実施した。

(単位:円)

募金方法	令和3年度	令和2年度
戸別募金	5,861,589	6,015,540
街頭募金	147,013	127,330
職域募金	274,335	253,361
法人(企業)募金	681,000	616,500
学校募金	218,648	145,737
その他	231,680	483,864
合計	7,414,265	7,642,332

### (ウ) 歳末たすけあい運動の実施

民生・児童委員連合会、自治会、共同募金委員会、当協議会等が一体となって「歳

「末たすけあい募金運動」を行い、市民の皆様の温かい善意と関係者の熱心な協力によって多額の募金をいただいた。この募金は、年末に支援を必要とする人たちへの援助や事業等、地域の福祉活動に活用した。

(単位:円)

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
募金実績額	3,983,798	3,951,758

配分内訳

(単位:円)

対 象	金 額
市内児童養護施設 (お年玉・入学祝い)	496,000
福祉団体 (見舞金)	460,000
地区民生・児童委員協議会への助成 (高齢者の集い・コロナ対策一人暮らし高齢者見守り活動・歳末プレゼント)	2,088,596
ひとり親家庭支援事業	129,054
生活困窮者緊急支援事業	82,263
高齢者コミュニケーション支援事業	153,159
地域活動拠点整備事業	26,680
災害ボランティア訓練事業	155,227
車いす利活用事業	113,760
合 計	3,704,739

## (2) 福祉情報の提供及び広報活動の強化

### ア 広報「社協だより・いこま」の発行

「社協だより・いこま」を発行して市内全戸に配布し、当協議会の事業の報告や情報提供に努めた。

- ・第116号(令和 3年 4月 1日)
- ・第117号(令和 3年 7月 1日)
- ・第118号(令和 3年10月 1日)
- ・第119号(令和 4年 1月 6日)

### イ ホームページの充実

ホームページにより、当協議会に関する情報を、迅速に分かりやすく提供した。

## 2 地域福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会の実現のため、市民の参加を得て、様々な福祉ニーズの相談に応じるとともに、きめ細かな福祉サービスを組織的かつ総合的に推進した。

### (1) 福祉総合相談体制の充実

#### ア 総合相談窓口の設置

相談を通じて市民のニーズを把握するとともに、当協議会の諸資源の積極的活用と専門的な相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和3年度		令和2年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生計	1	1	2	0
家族関係	9	1	6	4
健康・医療	2	1	0	0
財産	0	0	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	0	0	4	3
高齢者福祉	32	14	24	18
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	5	0	4	4
近隣問題	3	1	4	2
その他	19	5	17	7
合計	71	23	61	38

#### イ 心配ごと相談の運営

民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、毎月第1木曜日(祝日を除く。)に各種の相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和3年度		令和2年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生計	0	0	0	0
家族関係	2	1	2	1
健康・医療	1	1	1	1

財 産	0	0	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	0	0	0	0
高齢者福祉	1	1	0	0
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0
近隣問題	2	2	2	0
その他	1	0	0	0
合 計	7	5	5	2

## (2) ふれあい・いきいきサロン推進事業

現在開設中の各サロンに民間助成金等に関する情報提供を行うとともに、サロン活動啓発の一環として「社協だよりいこま」に活動紹介の記事を掲載した。

社協だよりいこま掲載

- No. 1 1 7号 サロン憩 (元町)
- No. 1 1 8号 東新町ふれあいサロン(東新町)
- No. 1 1 9号 谷田ふれあいカフェ (谷田町)

## (3) 高齢者支援事業

### ア 友愛電話訪問事業

#### (ア) 友愛電話訪問

ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消することを目的に、訪問ボランティアの協力により、月曜日から金曜日（祝日を除く。）に電話による訪問を実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度
対 象 者	30人 (男性5人・女性25人)	31人 (男性8人・女性23人)
実施日数	244日	243日
訪問回数	824回	885回
ボランティア	13人	15人

#### (イ) 友愛電話訪問交流会

友愛電話の利用者とボランティアが親睦を深めるため、交流会を開催した。

実 施 日 11月18日  
 場 所 コミュニティセンター  
 参 加 者 友愛電話利用者6名 訪問スタッフ 10名

(ウ) 友愛電話訪問ボランティア研修会

友愛電話の訪問ボランティアを対象に研修会を開催した。

実施日 3月10日  
 場所 コミュニティセンター  
 内容 「支援・相談に必要な傾聴」  
 吹田傾聴「ほほえみ」 代表 長谷川 美津代氏  
 参加者 10名

イ 介護家族支援事業（家族介護教室）

介護の方法や介護されている方の健康づくりなどについて、専門家から学ぶ教室を、過密を避けるため募集を縮小して、デイサービスセンター幸楽で開催した。

開催日	内 容	講 師	人数(人)
10月2日	認知症の方との寄り添い方	若年性認知症サポートセンター 絆 菅 昌生氏	5
10月23日	介護の負担を軽減 自宅で出来る元気になる運動	友誼会総合病院 技師長 徳久 謙太郎氏	中止
11月6日	簡単にできる 飲み込みやすいおいしい食事	やすらぎの杜 延寿 管理栄養士 半田 恵美氏	6
11月27日	介護者のストレス軽減 ～免疫力アップのアロマの紹介～	日本エンジェルセラピア協会 理事長 浦野 典子氏	4
12月4日	排泄ケアのコツ	(株)はいせつ総合研究所 代表 浜田 きよ子氏	7
合 計			22

ウ 認知症高齢者等見守り事業（認知症支え隊）

在宅の認知症高齢者等に対し、ボランティア（隊員）が電話連絡や同行などの外出支援等を行い、本人の社会参加や活動を継続することにより、認知能力・身体能力の低下を防止し、在宅生活及び活動を継続した。また、事業をとおして地域住民の認知症への理解を促進した。

区 分	令和3年度	令和2年度
登録隊員数	73名	53名
活動隊員数(実人数)	30名	17名
支援回数	412回	145回



## エ 緊急時あんしんカードの配布

ひとり暮らし高齢者が緊急時に、速やかに連絡等ができるよう、各自の情報(氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、かかりつけの病院等)を書き込んで、身近な所に常備できるカードを作成し、民生委員・児童委員を通じて配布した。

## (4) 障がい者支援事業

### 障害者週間（12月3日～9日）キャンペーン事業

#### ア 「障害者週間」街頭キャンペーン

障がいのある人とない人が共に支え合い、尊重し合う共生社会を推進するため、障がい者団体及び関係団体の協力を得て実施した。

実施日	11月30日
場所	生駒駅、東生駒駅、南生駒駅
協力者	障がい者団体及び民生・児童委員連合会

#### イ 「障害者週間」講演会

障がい及び障がい者に対する理解を深めるとともに、障がい者の社会参加を促進するためのイベントを開催した。

開催日	12月4日（土）
場所	生駒市福祉センター
講師	NHK福祉番組アドバイザー 長崎 圭子 氏
演題	生きる力は自分の中にある「ともに生きる」社会をめざして
参加者	61人

#### ウ 「障害者週間」ポスター展

障がいについての理解と関心を高めることを目的に、市内の小学生からポスターを募集し、応募された作品を展示した。

場所	生駒市役所（11月18日～11月25日） 生駒市福祉センター（11月27日～12月9日）
参加校	生駒南第二小学校、真弓小学校、生駒台小学校、あすか野小学校
作品数	13点

## (5) 福祉教育事業

### ア 福祉出前講座

昨年度同様に事前学習用DVDを活用して体験の時間短縮を行い、かつクラス単位で体験学習を行うなどの感染対策を行った。本年度は受講した児童・生徒に対し「思いやりサポーター認定証」と「あなたのやさしさを街角で」の冊子を配布した。

また、奈良県社会福祉協議会からの依頼を受け、新型コロナウイルス感染者に対す

る差別について考える講座「あなたのまちで やさしさをひろげるために」のプログラムを作成、実施した。

開催日	場 所	対象者	人数	内 容
6月25日	壱分小学校	5年生	115	アイマスク体験
7月13日	壱分小学校	5年生	115	あなたのまちでやさしさをひろげるために
9月15日	桜ヶ丘小学校	6年生	105	あなたのまちでやさしさをひろげるために
9月17日	生駒南小学校	4年生	69	手話体験
9月17日	生駒南小学校	5年生	70	あなたのまちでやさしさをひろげるために
9月24日	生駒小学校	4年生	108	点字体験
9月28日	生駒北小学校	5・6年生	45	あなたのまちでやさしさをひろげるために
9月30日 10月1日	あすか野小学校	4年生	151	手話体験
10月7日	生駒小学校	4年生	108	手話体験
10月8日	緑ヶ丘中学校	1・2・3年生	523	あなたのまちでやさしさをひろげるために
10月21日 10月28日	あすか野小学校	4年生	151	車イス体験
10月22日	鹿ノ台佐保保育園	4・5歳児	31	手話体験
10月27日	生駒東小学校	4年生	91	車いす体験
10月27日	生駒南中学校	2年生	52	あなたのまちでやさしさをひろげるために
10月29日	生駒小学校	4年生	108	車いす体験
11月4日	生駒東小学校	4年生	91	点字体験
11月5日	俵口小学校	4年生	84	車いす体験
11月5日	生駒東小学校	4年生	91	手話体験
11月5日	生駒南中学校	1年生	54	あなたのまちでやさしさをひろげるために
11月16日	手話サークルハーブ	サークル員	25	あなたのまちでやさしさをひろげるために
11月17日	あすか野小学校	4年生	151	点字体験
11月19日	真弓小学校	4年生	106	点字体験
11月25日	俵口小学校	4年生	84	点字体験
11月25日	俵口小学校	4年生	84	手話体験
11月26日	壱分小学校	5年生	115	車いす体験
11月30日	生駒北小学校	3・4年生	56	車いす体験
11月30日	生駒北小学校	4年生	32	アイマスク体験
12月2日	真弓小学校	4年生	106	車いす体験
12月2日	生駒台小学校	4年生	121	手話体験
12月3日	ひがし保育園	4歳児	35	手話体験
12月8日	生駒台小学校	4年生	121	車いす体験
12月8日	ひがし保育園	3歳・5歳児	86	手話体験
12月10日	生駒台幼稚園	年長5歳児	51	車いす体験
12月10日	中保育園	5歳児	51	手話体験
12月16日	生駒南小学校	3年生	68	アイマスク体験
1月21日	生駒南小学校	5年生	70	車いす体験
1月27日	鹿ノ台小学校	4年生	100	車いす体験
1月28日	鹿ノ台小学校	4年生	100	アイマスク体験
1月28日	壱分幼稚園	4歳児	32	手話体験

2月2日	桜ヶ丘小学校	5年生	133	車いす体験
2月3日	鹿ノ台小学校	4年生	99	手話体験
2月10日	上中学校	2年生	222	車いす体験
2月10日	上中学校	2年生	222	福祉教育講座
2月15日	生駒南第二小学校	4年生	32	車いす体験
3月10日	上中学校	1・2年生	426	あなたのまちでやさしさをひろげるために
合 計		45回	4,890	

## イ 気になる会議の開催

制度の狭間や支援につながない「気になる方」「心配な方」について民生委員・児童委員や関係機関等を交えて意見交換会を開催した。

開催日 2月25日（金）  
 場 所 コミュニティセンター  
 講 師 奈良市社会福祉協議会 後藤 文造氏  
 演 題 「いいばしょプロジェクト」の取組み  
 参加者 23人

## ウ 相談援助実習及び介護等体験実習生の受入れ

社会福祉教育の一環として、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）に規定する社会福祉士等資格取得に必要な実習等の学生を受け入れた。

・ソーシャルワーク実習 2人  
 ・介護等体験実習 中止

## （6）ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭や生活に困窮する子育て世帯を中心とした親子に交流の場を提供するとともに、必要な生活相談ができるよう相談機関等の周知・啓発する機会として開催した。

実施日 3月27日  
 場 所 コミュニティセンター  
 内 容 「はじめてのプログラミング体験」  
 子ども向けロボットプログラミング教室 ProgLab  
 参加者 41名

## （7）ふれあい援助事業

家事や介護等の日常生活に支障がある家庭に対しホームヘルパーを派遣した。

区 分	令和3年度	令和2年度
派遣件数	19件	22件
派遣時間	29時間	41時間 30分

## (8) 車いすの一時貸出し

高齢者、身体障がい者等の外出援助のため、無料で車いすの貸出しを行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
車いす	112 台 (福祉センター61 台)	42 台 (福祉センター19 台)

## (9) 善意銀行の運営

市民の皆様から善意の預託を受け、預託者の意思に従ってその指定先に払い出した。

預 託		払 出		払 出 先
件数	金 額	件数	金 額	
15 件	122,923 円	9 件	28,700 円	愛染寮、こども食堂
4 件	物品			

## (10) 当事者組織の支援

身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会等の当事者の会と連携の強化及び連絡調整を図るとともに、福祉活動の強化に努めた。

## (11) 社会福祉関係団体との連携強化

民生・児童委員連合会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会をはじめ、身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、聴覚障害者協会、難聴者福祉協会、遺族会、介護者（家族）の会等と連携体制の強化及び連絡調整を図り、福祉活動の強化に努めた。

### ア 生駒市民生・児童委員連合会事務局の運営

民生・児童委員連合会の事務局として、適切な運営を行った。

### イ 生駒市老人クラブ連合会事務局の運営

老人クラブ連合会の事務局として、適切な運営を行った。

### ウ 生駒市居宅介護支援事業者協会事務局の運営

居宅介護支援事業者協会の事務局として、適切な運営を行った。

### エ 生駒市保護司会事務局の運営

保護司会の事務局として、適切な運営を行った。

オ 生駒市地区更生保護女性会事務局の運営

更生保護女性会事務局として、適切な運営を行った。

## (12) 生活困窮者緊急支援事業

ア 緊急物品の支給

生活困窮者自立支援事業を利用するもののうち、緊急に支援が必要と認めるものに対して、緊急物品等の支給し、生活困窮者に充実した相談支援を行った。

年末年始食料 15世帯  
就職に係る交通費 0件

イ パンの配布

市内事業者から廃棄するパンを活用してほしいとお申し出をいただき、生活福祉資金貸付を利用している子育て世帯に配布

年23回

## (13) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

# 3 権利擁護活動の推進

## (1) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でない高齢者や障がい者の生活に関わる相談に応じ、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行う福祉サービス利用援助事業を推進した。

区 分	令和3年度	令和2年度
相談援助件数	248件 (内新規相談13件)	155件 (内新規相談14件)
契約者数	35人 (内新規契約者3人)	43人 (内新規契約者6人)
生活支援員活動件数	496件	521件
生活支援員活動時間	408時間30分	421時間00分

## (2) 権利擁護支援センターの運営及び権利擁護支援の推進

知的障がい、精神障がい、認知症により判断能力が十分でない者等に対し、住み慣れた地

域で安心して暮らし続けられることを目的に、権利侵害及び権利行使に関する相談から支援まで総合的に行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
成年後見制度利用 支援件数	20 件	19 件
上記のうち 申立に至った件数	(10 件)	(11 件)
日常生活自立支援 事業からの移行	(5 件)	(4 件)

#### ア 法人後見事業の実施

適切な成年後見人等がない場合に生駒市社会福祉協議会が成年後見人等に就任し必要な支援を行った。

受任件数 1 件（補助類型）

#### イ 専門相談窓口の設置

##### (ア) 生駒市権利擁護支援センター相談業務

専門相談員（社会福祉士）を配置し、必要な相談支援を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
電話相談 (メール、ファクス含む)	973 件	285 件
面談	90 件	49 件
訪問	180 件	80 件
合 計	1243 件	414 件

##### (イ) 成年後見制度無料相談会

リーガルサポート奈良支部会員の司法書士と権利擁護支援センターの職員（社会福祉士）による成年後見制度に関する相談会（毎月第 3 木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談件数	22 件	24 件

##### (ウ) 高齢者及び障がい者のための無料法律相談

弁護士による、高齢者及び障がい者のための無料法律相談（毎月第 2・4 木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談件数	19 件	31 件

(エ) 福祉関係機関向け専門相談

権利擁護支援センターの職員が相談を受け、弁護士への相談を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談件数	4 件	13 件

ウ 実務者連絡会の開催

実施日 9月29日  
 場 所 生駒市福祉センター  
 内 容 講座「意思決定支援について」  
 講 師 社会福祉法人フォレスト倶楽部理事長 鶴 幸一郎氏  
 参加者 12人

エ 権利擁護支援セミナーの開催

実施日 2月12日  
 場 所 コミュニティセンター  
 内 容 「人生100年時代をあなたらしく！  
 ～老後を安心して暮らすために～」  
 講 師 「意思決定支援～認知症のあるかたの意思を尊重する支援～」  
 認知症の人と家族の会 大和 和子 氏  
 「今から考える任意後見制度」弁護士 板野 陽一 氏  
 参加者 27人

オ 権利擁護支援サポーター養成講座の開催

実施日 1月12日（1日目）  
 内 容 「成年後見制度の基本的理念と概要」・「成年後見人の具体的活動」  
 講師 弁護士 板野 陽一 氏  
 「知的、精神障がい者への理解と支援について」  
 講師 生活支援センターコスモールいこま 所長 田中 善子 氏  
 参加者 13人

実施日 1月26日（2日目）  
 内 容 「日常生活自立支援事業について」・「生活支援員の役割」  
 講師 奈良県社会福祉協議会 岡本 和代 氏  
 「認知症高齢者への理解と支援について」  
 講師 社協包括 認知症推進員  
 参加者 10人

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 4 ボランティア活動の推進

### (1) ボランティア活動保険の加入促進

受付区分	令和3年度	令和2年度
ボランティア活動保険	2,492人	2,785人
ボランティア行事保険	124件	36件
保険請求件数	5件	0件

### (2) ボランティア活動普及事業協力校への支援

小学校及び中学校の児童や生徒を対象に、社会福祉に対する理解と関心を深めることを目的として、学校に対して助成を行った。

助成校 生駒小学校、生駒北小学校、あすか野小学校、壺分小学校、生駒南第二小学校、鹿ノ台小学校、生駒中学校、光明中学校、生駒高等学校、奈良北高等学校

### (3) 生駒市内のボランティア団体との連携

ア 生駒市社会福祉協議会ボランティアネットワークへの情報提供

民間助成金等の情報を16回配信した。

イ ボランティアネットワーク情報交換会の開催

実施日 7月21日  
場所 コミュニティセンター  
内容 グループの活動状況やボランティアネットワークの今後についての情報交換  
参加 7グループ9名

実施日 3月24日  
場所 コミュニティセンター  
内容 ネットワークの立ち上げから現在までの振り返りと活動報告、グループ紹介（生駒市健康づくり推進員連絡協議会）、情報交換  
参加 9グループ21名

### (4) 福祉ボランティア団体の活動支援

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を目的として、福祉ボランティア団体に対して助成を行った。



助成団体 要約筆記いこま、幸楽ボランティア、手話サークルかしの木、手話サークルハーブ、音訳グループ生駒やまびこ、ひまわりの集い

## (5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 5 生活福祉資金等を活用した自立支援

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を活用した資金の貸付けと必要な援助指導等により、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加を促進した。

### (1) 低所得者世帯等への支援活動

#### ア 生活福祉資金の貸付相談

民生委員・児童委員の協力を得て、低所得者、高齢者及び障がい者の世帯に生活福祉資金の貸付けを行い、経済的な自立と生活意欲の促進に努めた。

区 分	令和3年度	令和2年度
相談件数	711件	1,863件

#### イ 貸付申請件数

区 分	令和3年度		令和2年度	
	件数(件)	決定額(円)	件数(件)	決定額(円)
福祉資金				
・福祉費	0	0	1	1,200,000
・緊急小口資金	1	100,000	3	300,000
教育支援資金				
・教育支援費	11	13,797,000	3	4,047,000
・就学支度費	8	1,721,000	1	350,000
総合支援資金				
・生活支援費	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型生活資金				
・要保護世帯向け	0	0	0	0
合 計	20	15,618,000	8	5,897,000

特例貸付	令和3年度		令和2年度	
	件数(件)	貸付決定額(円)	件数(件)	貸付決定額(円)
・緊急小口資金	245	48,250,000	660	126,170,000
・総合支援資金				
(初回)	260	137,750,000	465	251,350,000
(延長)	90	47,550,000	242	132,150,000
(再貸付)	272	146,050,000	160	86,900,000
合 計	867	379,600,000	1,527	596,570,000

## (2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 6 災害時に向けた取組み

### (1) 災害支援に関する学習・啓発活動

ア 災害時における連携・協働のあり方などについて考えることを目的とした災害ボランティア養成講座を開催した。

実施日 10月16日

場 所 コミュニティセンター

内 容 「災害が起きたとき、あなたの力を人のために活かすために」  
一般社団法人ピースボート災害支援センター

参加者 17名

イ 生駒市総合防災訓練の実施に合わせ、災害ボランティアセンター設置訓練を行った。

実施日 11月14日

場 所 北コミュニティセンターISTA はばたき

内 容 災害ボランティアセンターの受付から活動報告までの、災害ボランティア活動の一連の流れを体験

参加者 11名 社協職員15名

## (2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 7 生活困窮者自立相談支援事業の実施

経済的な問題のみならず、複合的な問題を抱えている生活困窮者に対して、生駒市くら

しとしごと支援センターにおいて個別的に対応し、困窮状態から早期に脱却することを支援する生活困窮者自立相談支援事業を推進した。

### (1) 自立相談支援事業を行う生駒市くらしとしごと支援センターの運営

生活困窮者個々に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援体制を構築するために相談員を配置し総合的な支援を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
支援件数合計	1,708 件	1,585 件
電話相談	(253 件)	(544 件)
訪問同行支援	(121 件)	(86 件)
面談支援	(1,060 件)	(925 件)
新規相談件数	(339 件)	(442 件)

#### ア 支援調整会議

生活困窮者の複合的な課題を整理し、課題解決のための支援プランについて関係機関と合同でケースの検討及び支援の決定を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
開催数	12 回	10 回
検討ケース	10 件	10 件
プラン作成件数	43 件	100 件
評価	44 件	97 件

#### イ 就労支援

生活困窮者に対する就労支援を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
支援対象者件数	127 件	62 件
就労開始件数	(24 件)	(35 件)
就労増収件数	(19 件)	(16 件)

#### ウ サロンの開催

生活困窮者の居場所作りと、自己理解を深めるプログラムを実施し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数 計 12 回  
場 所 コミュニティセンター

内 容	個人で取り組みが出来る箱庭、カード等を使ったワークや、コミュニケーションを取りながら課題を完成させるワークなどを取り入れ、個人の特性等の理解を深め、他者との関係性の構築のためのきっかけ作りとした。
講 師	Co-en 浜口 桂氏
参 加 者	30人（延べ）

## （２）住居確保給付金の相談

離職により生活に困って、住居を失った人、又は住居を失う恐れの高い人に対し、期限付きで家賃相当額を支給する間に安定した就職活動ができるように支援をおこなった。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談支援件数	190 件	335 件
申請件数	(23 件)	(56 件)

## （３）家計改善支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や、専門的な助言・指導等を行った。

### ア 家計改善支援事業相談

生活困窮者からの相談に応じ、家計の問題を明らかにして生活の再生に向けたプランを作成し、家計を管理する力を高め、早期に家計が再生するための支援を行なった。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談支援件数	450 件	138 件

### イ 無料家計相談会

奈良県司法書士会の司法書士と社協職員による家計再建等に関する相談会（毎月第2水曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談件数	11 件	11 件

## （４）就労準備支援事業サポート業務

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなど、複合的な課題があり既存の雇用施策の枠組みでは支援になじまない方に、一般就労に従事する準備としての基礎能力形成を計画的に一貫して支援するサポートを行った。

区 分	令和3年度
支援対象者件数	1人
支援プログラムの実施	7回
職場見学	0回

### (5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 8 福祉センターの円滑な管理及び運営

### (1) 福祉センターの指定管理事業

生駒市独自の感染拡大緊急警報の間は各種教室などの事業開催を見送り、解除後に再開したが、利用制限の継続や事業内容の変更、中止等の判断をせざるを得ないものもあった。

(単位:人)

利用区分	令和3年度	令和2年度
福祉団体	1,835	1,811
ボランティア団体	2,430	2,215
各種教室	2,374	1,797
市関係	587	386
手話関係	82	121
行 事	1,201	1,138
地域交流サロン	236	152
合 計	8,745	7,620

### ア 福祉センターの管理及び運営

#### (ア) 各種教室

生駒市独自の感染拡大緊急警報が発令され、開催時期が6月にずれ込んだ。今年度も引き続き三密を避ける目的で一部教室では二班制で実施したほか、カラオケや料理等調理を伴う各教室等については中止としたが、講義内容をDVDに収録して2ヶ月ごと参加者に配布し自宅にて取り組んでいただいた。

教室名	令和3年度		令和2年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
やきもの教室A	15	155	11	108

やきもの教室 B	14	150	11	85
水彩画教室	15	107	12	129
さをり織り教室	15	110	11	75
料理教室	中止	—	中止	—
中国気功教室	15	194	12	173
たいそう教室	15	107	10	86
カラオケ教室 A	中止	—	中止	—
カラオケ教室 B	中止	—	中止	—
編み物教室	17	128	12	104
絵てがみ教室	17	134	12	98
手作りパン教室	中止	—	中止	—
園芸教室	16	231	12	170
健康ヨガ教室	17	241	12	166
健康太極拳教室	16	245	12	159
フラダンス教室	17	220	12	169
パッチワーク教室	16	140	10	99
合計	205	2,162	149	1,621

短期教室名	令和3年度		令和2年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
ビーズ教室	6	41	6	60
社交ダンス教室	中止	—		
みんなでワいわ料理教室	中止	—	中止	—
お菓子教室	中止	—	中止	—
男性料理教室	中止	—	中止	—
アロマキャンドル教室	1	8	1	11
しめ縄アレンジメント教室	1	7	—	—
ストレッチ教室	11	151	7	93
合計	19	207	14	164

(イ) 福祉センター祭

各種教室で学んだ成果を展示・発表する場として福祉センター祭を実施しているが、昨年度に続きフレンドルームでの発表会及び模擬店を見合わせ、開催期間を3日間として、作品展示及び事前収録動画上映での発表にて実施した。

開催日 3月10日 ～ 3月12日  
来場者数 224人

(ウ) 各種行事

障がい者(児)とその家族、高齢者(60歳以上)を対象に、各種行事を実施しているが、秋の日帰りバスツアーとレクリエーション・ゲーム会は中止した。

ボッチャ体験会	11月24日実施	参加者22人
ゴールボール体験会	10月20日実施	参加者18人
モルック体験会	2月2日実施	参加者23人

(エ) ボランティア講習会

登録ボランティアに対し、障がい者及び高齢者理解を深めるため講習を実施した。

実施日 9月22日  
 場所 生駒市福祉センター  
 内容 認知症サポーター養成講座  
 講師 社協包括 認知症推進員  
 参加者 23人

実施日 2月12日  
 場所 生駒市福祉センター  
 内容 日本サポートドッグ協会の活動について  
 介助犬・聴導犬の訓練を実演  
 介助犬と生活して  
 講師 日本サポートドッグ協会生駒支部 山本事務局長 守屋氏（当事者）  
 参加者 13人

イ 意思疎通支援事業

(ア) 手話通訳者等設置

専任の手話通訳者を設置し、手話通訳者派遣のコーディネートを行うとともに、聴覚障がい者等の日常生活における様々な相談に応じた。

(イ) 手話通訳者派遣

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣した。

区分	令和3年度	令和2年度
派遣件数	204件	222件
派遣人数	249人	245人

(ウ) 要約筆記者派遣

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、要約筆記者を派遣した。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
派遣件数	48 件	29 件
派遣人数	103 人	73 人

## ウ 社会参加支援事業

### (ア) 点字及び声の広報の発行

視覚障がい者の社会参加・自立の一助として、「点字広報いこま いこまち」及び「声の広報いこま いこまち」を発行した。

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度	
	回数(回)	利用人数(人)	回数(回)	利用人数(人)
点字広報	12	36	12	36
声の広報	12	180	12	186

### (イ) 各種講座

手話奉仕員養成講座（入門編）の開催を見送ったが、聴覚障がい者や視覚障がい者の社会参加におけるコミュニケーションを助ける技術を学ぶ講座を開催した。

講 座 名	令和3年度		令和2年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員養成講座	24	327	20	344
聞こえのサポーター講座	7	47	7	78
点訳講習会	9	59	—	—
音訳講習会	6	75	6	79
合 計	46	508	33	501

## (2) 福祉センター自主事業

### ア 点字図書の貸出し

視覚障がい者等に情報を提供するため、芥川賞・直木賞受賞作品の点字図書を貸し出した。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
利用件数	5 件	12 件
貸出数	18 冊	44 冊

### イ 手話奉仕員スキルアップ研修

実施回数 5回  
参加者 45人



## ウ 聴覚障がい者サロン（ふく mimi サロン）の運営支援

市内の聴覚障がい者の社会参加と仲間づくりの輪を広げ、いきいきと安心して暮らせることを目的に開催し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数 計 11 回  
場 所 生駒市福祉センター  
内 容 ボランティアのサポートを受け、DVD鑑賞、市のどこでも講座、山麓公園ふれあいセンターやふろーらむの散策、ゲーム大会などを行った。  
参 加 者 116 人（延べ）

### （3）苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

## 9 地域包括支援センターの運営及び包括的支援事業の推進

高齢者の地域生活の支援のため、地域ネットワークづくりを推進するとともに、各種支援サービスを提供した。

### （1）地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、介護サービスを始め様々なサービスを包括的に受けられるよう、関係機関との調整等、高齢者を支える総合機関としての運営を行った。

#### ア 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し介護予防支援計画を作成した。

（単位：件）

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
総合事業対象者	54	43
要支援 1	147	124
要支援 2	145	174
合 計	346	341

#### イ 総合的な相談支援事業

介護保険等様々な制度や地域資源との連携による相談及び支援を実施した。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
相談件数	1,157 件	914 件

ウ 包括的かつ継続的ケアマネジメント事業

(ア) 介護支援専門員への助言・指導

包括的かつ継続的なケアマネジメントが行えるよう、地域のケアマネジャーに対し支援を行った。

	令和 3 年度	令和 2 年度
集団支援		
実施回数	12 回	15 回
参加者	242 人	195 人
個別支援		
相談・支援	127 件	63 件

(イ) 地域支援体制整備

地域のネットワークづくりのため、関係機関と連携を図った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
連携件数	26 件	48 件
地域ケア会議	34 回	41 回

(2) 介護予防事業

ア 指定介護予防支援

要支援認定者に対し介護予防サービス計画を作成した。

(単位:件)

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
要支援 1	130	100
要支援 2	253	257
合 計	383	357

イ 高齢者介護予防事業(介護予防教室)

高齢者やその家族を対象に介護予防に関する知識及び技術の普及啓発を目的に、介護予防教室を実施した。

開催日	開催場所	人数(人)	内 容
6月30日	デイサービスセンター 幸楽	12	・ひまわりの集い（地域出前型 生駒市健康 づくり推進員連絡協議会） ・介護予防手帳の説明 ・コロナ禍での過ごし方についての意見交換
11月17日	デイサービスセンター 幸楽	8	・『振り込め詐欺にだまされないために』 奈良県くらしの安全・安心サポーター ・認知症サポーター養成講座
11月19日	西松ヶ丘集会所	15	・ひまわりの集い（地域出前型 生駒市健康 づくり推進員連絡協議会） ・介護予防手帳の説明
合 計		35	

#### ウ 生活機能評価未返送者実態把握事業

市が郵送した「基本チェックリスト」の未返送者の実態等を把握するため、調査を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度
訪問支援件数	45件	33件

### (3) 認知症地域支援推進員の配置

ア 認知症の人及び家族の支援として相談業務を行った。

区 分	令和3年度	令和2年度
相談件数	458件	307件

イ 認知症サポーター養成講座等を開催した。

区 分	令和3年度	令和2年度
回数	6回	3回
人数	226人	238人

### (4) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

## 10 デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営

利用者の多様化、複雑化する高齢者の介護及び予防並びに障がい者の生活ニーズに対応するとともに、自立支援に向けたサービス提供に努めた。

## (1) 介護保険事業の運営

### ア 要介護認定調査事業

市から介護保険認定調査事業を受託し、各地域において認定調査を行った。

(単位:件)

区 分	令和3年度	令和2年度
市 内	66	29
他 市	0	0

### イ 居宅介護支援事業 (ケアプランの作成)

要介護認定者に対し、居宅サービス計画 (ケアプラン) を作成した。

(単位:件)

区 分	令和3年度	令和2年度
要介護1	448	374
要介護2	421	416
要介護3	176	220
要介護4	152	149
要介護5	47	54
合 計	1,244	1,213

### ウ 訪問介護事業

要介護認定者に対し訪問介護員を派遣し、生活援助及び身体介護を行った。

区 分	令和3年度		令和2年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護1	140	870	138	858
要介護2	106	723	150	1,310
要介護3	35	319	20	104
要介護4	38	198	45	304
要介護5	12	62	7	64
合 計	331	2,172	360	2,640

### エ 通所介護事業

要介護認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	213	2,006	211	1,924
要介護 2	190	1,811	177	1,896
要介護 3	62	778	73	852
要介護 4	79	550	82	646
要介護 5	12	64	21	109
合 計	556	5,209	564	5,426

オ 介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者に対し訪問介護員または生活支援員を派遣し、身体介護や生活援助を行った。

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防訪問介護相当サービス				
総合事業対象者	31	122	20	85
要支援 1	120	545	117	536
要支援 2	141	785	99	575
合 計	292	1,452	236	1,196
訪問型サービス A				
総合事業対象者	27	109	33	133
要支援 1	6	22	31	126
要支援 2	60	230	60	243
合 計	93	361	124	502

カ 介護予防通所介護相当サービス・通所型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、食事、入浴やマシンを使った運動プログラム等の通所サービスを行った。

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防通所介護相当サービス				
総合事業対象者	3	12	5	14
要支援 1	5	15	30	109
要支援 2	146	856	159	902
合 計	154	883	194	1,025

通所型サービスA				
総合事業対象者	78	272	51	165
要支援1	26	84	24	72
要支援2	22	79	24	98
合計	126	435	99	335

#### キ パワーアップPLUS教室

専門職の指導によるマシンを使った運動や自宅で行う運動の個別指導を行い、短期間で元気な生活を取り戻すための教室を実施した。

区 分	令和3年度	令和2年度
参加延べ人数	1,358人	1,899人
教室開催回数	188回	179回

### (2) 障害福祉サービス事業の実施

#### ア 居宅介護（ホームヘルプ）・重度訪問介護

ホームヘルパーを派遣し、介護、家事等生活全般にわたる援助を行った。

区 分	令和3年度		令和2年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
居宅介護	52	358	43	403
重度訪問介護	0	0	0	0

#### イ 移動支援・同行援護・行動援護事業

障がい者が円滑に外出できるよう、移動支援、同行援護及び行動援護を行った。

区 分	令和3年度		令和2年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
同行援護事業	33	288	31	248
行動援護事業	4	4	1	1
移動支援事業	0	0	0	0

#### ウ 生活介護（デイサービス）

障がい者に送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度
利用人数	36 人	32 人
回 数	235 回	192 回

### (3) デイサービスセンター幸楽自主事業

#### ア はいせつ無料相談（ミニむつき庵いこま）

排泄に関する問題を抱えながら、適切な指導や助言を得られない方、また問題の存在に気付かないまま過ごしている方に対し、面談や電話等での相談の対応を行った。

#### イ 要介護者及び家族交流事業（salon de kouraku）

普段介護を行っている家族、社会的交流や役割などの獲得が必要な要支援者等に対して、毎月第3水曜日の10時から、情報交換やリフレッシュができる場を提供していたが、昨年度に続き実施を見合わせた。

### (4) 苦情等受付状況

苦情受付件数                      0 件

## 1 1 交通遺児奨学金の支給

交通災害により親等を失った高校生に交通遺児奨学金の支給を行う。

交通遺児奨学金支給者                      0 人